

市政ニュース

市民グループと和やかに対話 「中貝市長とふれあいトーク」開催

昨年初めて企画・実施した「中貝市長とふれあいトーク」は、気心の知れた仲間と一緒に気楽に市長と話せると大変好評でした。

これを受けて、今年も6月30日から7月15日の間に6会場で開催しました。

公募により、子育て、健康づくり、地域の活性化などさまざまな活動をしている12のグループが集まり、それぞれ希望するテーマについて、約1時間、市長と楽しく語り合いました。



▲まちづくりについて貴重な提言もいただきました



▲女性グループと和やかに懇談

仲間と一緒にだと、時間が足りないほど話が弾みました。学生有志のグループからは、もっと市外への情報発信を求める声がありました。

また、家族を自宅介護するグループの話には、市長もその頑張りに大きくうなずいていました。

市では、今後も、地域単位の懇談会などで、多くの市民の皆さんの意見を聴くとともに、このような少人数での気軽な話し合いの場も設け、「対話と共感」の市政を推進します。

アジアの青少年を通して豊岡発信 インド国青少年訪日団、南ソウル大学生来訪

インド国青少年訪日団

6月11日から16日までの6日間、国の「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環で、インド国訪日団19人が初めて本市を訪れました。

インドの高校生は、市内9家庭でのホームステイで、日本の家庭生活を味わい、楽しく過ごしました。

豊岡総合高校での交流では、同校の生徒と一緒に登校し、授業や部活動に参加しました。



▲茶道の部活動を体験

ほかにも、出石永楽館で、出石町大名行列保存会の指導を受け、市の無形文化財「大人名行列槍振り」を体験。

また、コウノトリとの共生や環境経済の学習、豊岡清掃センター・佐野浄水場の見学など、さまざまな視点から豊岡の環境の取組みについて学

韓国・南ソウル大学生

6月23日と24日には、韓国・南ソウル大学の学生など26人が来訪しました。

コウノトリ施策について学び、コウノトリの郷営農組合の協力を得て、田んぼの水路に設置する「生きもの退避スペース」の修繕作業も体験しました。

市は、国際交流も本市を紹介する機会とし、「小さな世界都市」を目指します。

市のホームページに自動翻訳システムを導入しました

市のホームページに、7月1日から、英語、中国語、韓国語の自動翻訳システムを導入しました。

これにより、各ページの上にある下記のボタンをクリックすると、そのページが即時3カ国語に翻訳されるようになりました。



主な市政の動き

6月

11日 インド国青少年訪日団来訪（16日）

15日 田舎暮らし体験施設第2号オープン

23日 韓国・南ソウル大学生が環境学習で来訪（24日）

30日 中貝市長とふれあいトーク開催（竹野総合支所・本庁、7月1日：城崎総合支所、2日：出石農村環境改善センター、5日：日高総合支所、15日：但東総合支所）

7月

1日 市ホームページ自動翻訳システム（英語、中国語、韓国語）導入

2日 個人住民税等整理回収チーム派遣受け入れ

5日 第1回生物の多様性を育む農業国際会議（4日）

7日 F.M.ジャングルの市番組「防災ワンポイント」とよおか！もつと教え隊!!」スタート

豊岡エキシビジョン2010 開催（東京都）

〜乗って守る〜

「e通勤プロジェクト」推進街頭キャンペーンを実施しました

6月15日、早朝7時30分から立野橋交差点で、市長はじめ市職員と全但バス(株)社員、JR西日本豊岡駅員など約40



▲ドライバーには、信号待ちを利用して啓発

人が参加し、「e通勤プロジェクト」推進のための街頭キャンペーンを行いました。このプロジェクトは、マイカー通勤から鉄道やバスなどを利用した通勤に転換することにより、地域の公共交通を守るとともに、二酸化炭素削減による温暖化防止や交通事故防止を図ることを目的として、市と公共交通機関とが連携して推進しています。当日は、市マスコットキャラクタ「コーちゃん」「オーちゃん」「玄さん」も一緒に、ドライバーや歩行者へ公共交通通勤を呼び掛けました。

現在、市役所のほかに市内6事業所が「e通勤」に取り組んでいます。

【e通勤参加事業所】

- ・(株)三井住友銀行豊岡支店
- ・(株)但馬銀行
- ・たじま農業協同組合
- ・但馬信用金庫
- ・関西電力(株)豊岡営業所
- ・豊岡エネルギー(株)

FMジャングルのインターネット放送で全国、そして世界へ発信

「防災ワンポイント」とよおかもっと教え隊」の番組スタート

市では、7月からのFMジャングル(76・4MHz)インターネット放送に合わせて、7月5日から、防災啓発番組「防災ワンポイント」と市の情報発信番組「とよおかもっと教え隊!!」をスタートしました。

FMジャングルのホームページに保管(1年間)されますので、後からでも放送を聴くことができます。

■「防災ワンポイント」

水害や地震などの災害が発生した場合に、自らの判断で適切な行動がとれるよう、この番組を通して、市民の皆さんや地域の自主判断能力の向上を図ります。

毎回、日本の防災分野の第

どちらの番組もインターネット放送(<http://www.764.fm/>)により、海外まで流れます。また、放送後2週間以内に

中貝市長の徒然日記 ③

売り込め!

コウノトリが、続々と教科書に取り上げられていきます。高校の英語が2冊、小学校6年生の道徳が1冊、小学校3・4年生の社会科が1冊。対象に豊岡の魅力を紹介する「豊岡エキシビジョン」を、昨年は六本木、今年は秋葉原で行いました。盛会でした。

試みにグーグルで「コウノトリ」の記事がインターネット上どれくらいあるか検索してみました。実に56万7千件。来ました。2カ月連続で城崎たいしたものです。ところが「トキ」は810万件! 差は歴然としています。

「知らなければ存在しないのと同じだ。もっと情報発信力を身に付けろ」と職員にハツパをかけています。箱根の山を越えろ、という合言葉もあります。豊岡の情報にはなかなか全国ニュースにならず、多くは頑張って大阪止まりです。もちろん関西圏は豊岡の大切なお得意様です。しかし、未開の、最大のマーケットが東京にあります。情報発信戦略の最初のケ-

スは、副市長公募でした。組織を挙げた売込みが功を奏し、新聞、テレビの全国ニュースになり、あるいは全国の地方紙に一斉に載って、競争倍率は1371倍になりました。東京のマスコミ関係者らを対象に豊岡の魅力を紹介する「豊岡エキシビジョン」を、昨年は六本木、今年は秋葉原で行いました。盛会でした。

